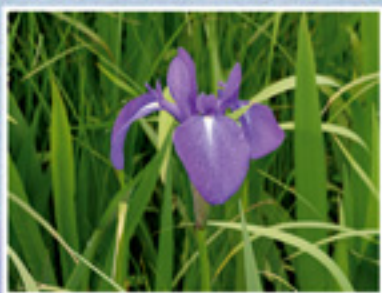
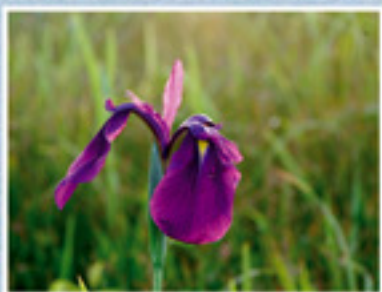




# ベニセ湿原

日本海沿岸部に屏風山砂丘地帯があり、七里長浜に沿って松の防風林と内側にはカシワの自然林が連なっています。広大な丘陵地帯には、大小の湖沼群が無数に点在し、その中で大滝沼、ベニセ沼の間に位置する湿原が「ベニセ湿原」です。ベニセ湿原は、標高約20m、面積約23ha、津軽国定公園を代表する湿原のひとつです。苔が幾層にも重なってできる低層及び中間層湿原で、昭和58年日本自然百選に指定されるほどの見事さ。6月中頃にはニッコウキスゲの群落が一を鮮やかに染め上げ、7月始めにはノハナシヨウブの群落で紫色に彩られます。



所在地：つがる市木造館岡  
お問い合わせ先：つがる市商工観光課 TEL：0173-42-2111



# 岩木山を含む

# 田園風景

遙か地平線まで広がる水田地帯。初夏の瑞々しい緑や、秋の黄金色の稲穂が風にそよぐ田園の光景は、つがる市自慢の四季の風物詩であり、私達日本人誰もが心に抱く「原風景」です。同時に、かつて一面不毛の湿地帯だったこの地を今日の豊かな水田地帯として築き上げるまで、様々な悪条件に立ち向かい、想像を絶する努力の果てに開拓を成し遂げた、先人達の歴史をも物語っています。





# 屏風山と 七里長浜

七里長浜（日本海）に沿って南北に延びる屏風山。かつては砂丘が連なり、西風と共に巻き起こる砂嵐は、田畑の作物を覆い尽くしてしまうほどでした。津軽藩四代目藩主信政公は強風と飛砂を防ごうと屏風山への植林を計画し、二百年もの歳月をかけて完成、今日の「屏風山飛砂防備保安林」の原型が出来上がったのです。植栽された木の成長に比例して新田開発が進んだことから、まさに屏風山の造成は、新田開発にとって大きな役割を果たしたといえます。



# 高山稲荷神社

七里長浜を望む高山稲荷神社は、五穀豊穡、海上安全、商売繁盛の神様として霊験あらたかといわれています。御祭神は、御本殿に祭られる全国稲荷神社の総本山・伏見稲荷神社と同じ稲荷大神です。境内には三王神社、龍神社など多くの境内社もあり、稲荷大神と共に大きな信仰を集めています。神社は日本海の眺望がすばらしい高台にあり、百有余段の石段を登り切って拝殿にでると、眼下には龍神を祀ってある龍神社、小神祀公園があり、無数の赤い鳥居が曲線を描きながら続いています。



お問い合わせ先：高山稲荷神社  
つがる市牛淵町鷺野沢 147-1 TEL：0173-56-2015